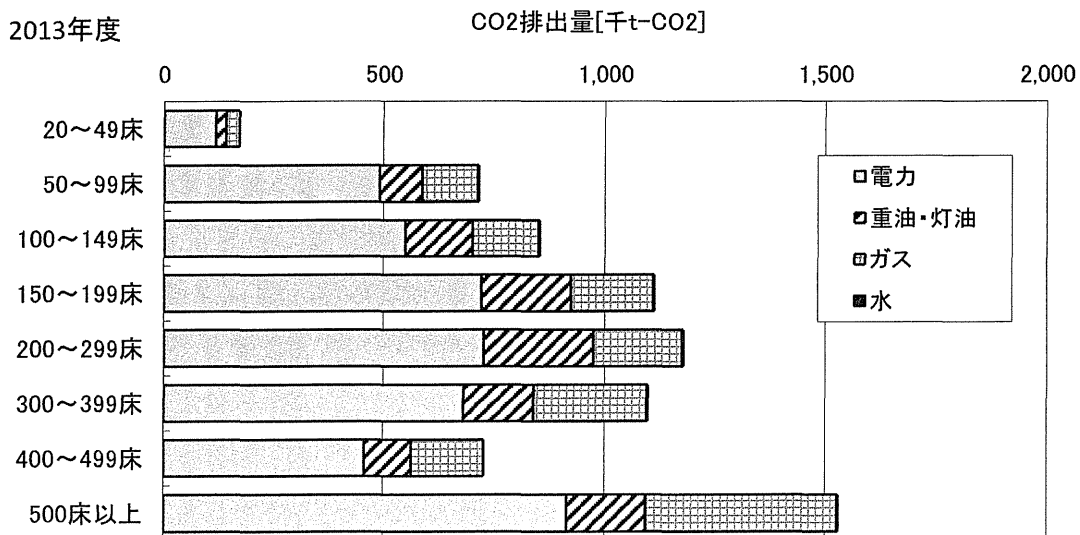
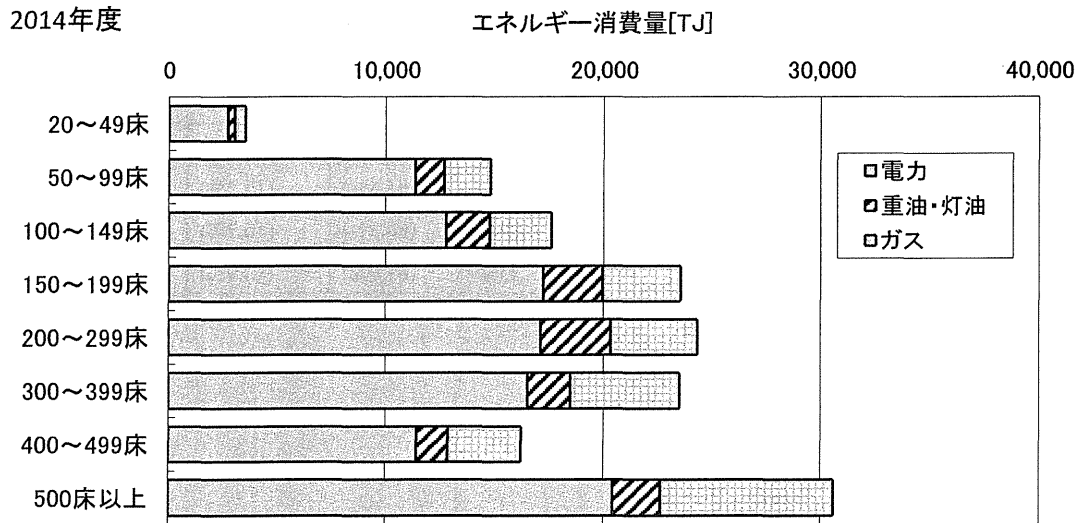
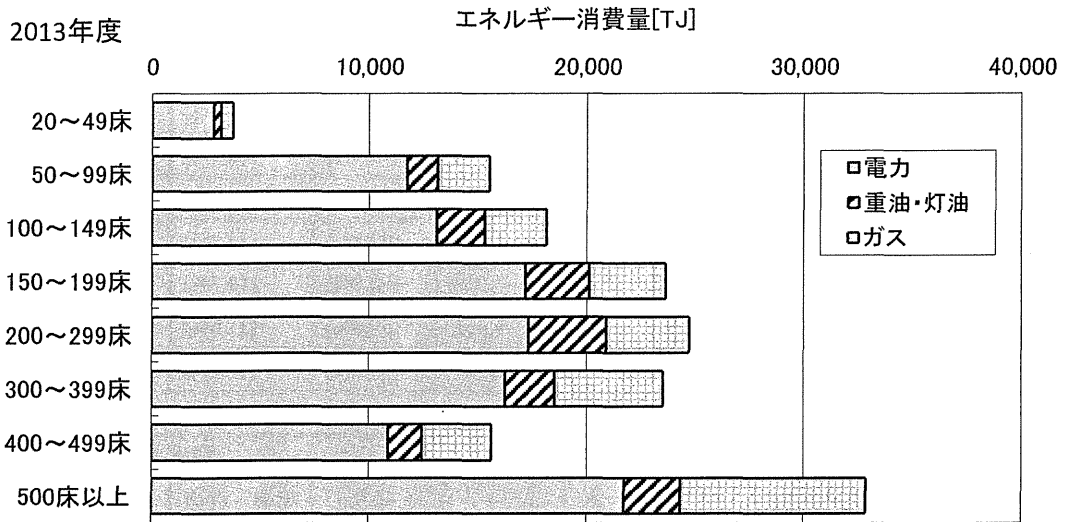


2013年度	1病院当りCO ₂ 排出原単位 (t-CO ₂ /病院)				合計	構成比			
	電力	重油・灯油	ガス	水		電力	重油・灯油	ガス	水
20～49床	—	—	—	—	—	(68.7%)	(13.5%)	(17.4%)	(0.4%)
50～99床	260	51	66	1	379	(68.7%)	(13.5%)	(17.4%)	(0.4%)
100～149床	439	120	119	2	680	(64.6%)	(17.7%)	(17.4%)	(0.3%)
150～199床	601	168	154	3	926	(64.9%)	(18.1%)	(16.6%)	(0.3%)
200～299床	753	255	209	4	1,220	(61.7%)	(20.9%)	(17.1%)	(0.3%)
300～399床	1,292	299	486	5	2,081	(62.1%)	(14.4%)	(23.3%)	(0.2%)
400～499床	1,894	443	673	8	3,018	(62.8%)	(14.7%)	(22.3%)	(0.3%)
500床以上	3,843	749	1,825	14	6,431	(59.8%)	(11.6%)	(28.4%)	(0.2%)
合計平均	1,071	260	392	4	1,727	(62.0%)	(15.0%)	(22.7%)	(0.3%)

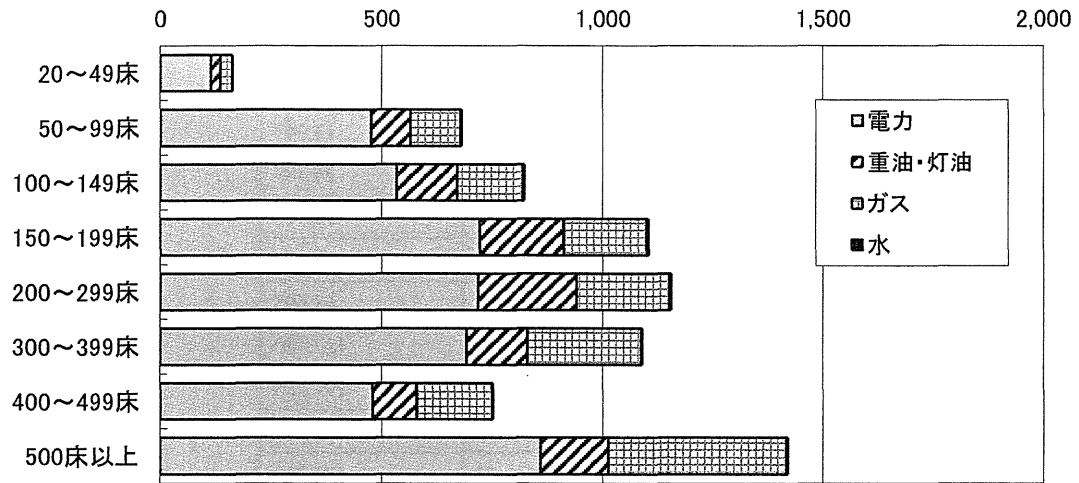
2014年度	1病院当りCO ₂ 排出原単位 (t-CO ₂ /病院)				合計	構成比			
	電力	重油・灯油	ガス	水		電力	重油・灯油	ガス	水
20～49床	—	—	—	—	—	(69.9%)	(13.2%)	(16.5%)	(0.4%)
50～99床	253	48	60	1	362	(69.9%)	(13.2%)	(16.5%)	(0.4%)
100～149床	427	109	118	2	656	(65.0%)	(16.6%)	(18.0%)	(0.3%)
150～199床	599	156	157	3	915	(65.5%)	(17.0%)	(17.1%)	(0.3%)
200～299床	749	232	219	4	1,203	(62.2%)	(19.3%)	(18.2%)	(0.3%)
300～399床	1,322	261	492	5	2,080	(63.5%)	(12.6%)	(23.7%)	(0.2%)
400～499床	1,920	398	685	8	3,010	(63.8%)	(13.2%)	(22.7%)	(0.3%)
500床以上	3,685	654	1,737	12	6,088	(60.5%)	(10.7%)	(28.5%)	(0.2%)
合計平均	1,046	230	380	4	1,660	(63.0%)	(13.9%)	(22.9%)	(0.3%)

図 8-7. 病床規模別エネルギー種別エネルギー消費量・CO₂排出量



2014年度

CO2排出量[千t-CO2]



(2) 光熱費

表 8-15. 病院規模別にみた光熱費 (1 病院当り、N=985)

	施設数	金額 (千円)
4,000 m ² 未満	91	13,941
4,000～5,999 m ²	115	24,483
6,000～7,999 m ²	160	30,702
8,000～9,999 m ²	112	39,887
10,000～19,999 m ²	296	68,695
20,000～29,999 m ²	99	127,180
30,000～39,999 m ²	57	194,285
40,000～49,999 m ²	20	263,797
50,000 m ² 以上	35	420,260
合計/平均	985	78,627

(参考)

	2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度
4,000 m ² 未満	18,276	12,124	11,206	12,153	11,908	13,647
4,000～5,999 m ²	26,978	17,369	18,242	19,674	20,860	23,177
6,000～7,999 m ²	34,689	25,768	24,883	27,245	30,592	30,289
8,000～9,999 m ²	44,839	35,638	33,053	34,237	38,630	39,525
10,000～19,999 m ²	70,961	50,307	54,068	57,233	59,437	65,041
20,000～29,999 m ²	129,981	95,661	98,801	108,307	112,185	120,661
30,000～39,999 m ²	213,383	148,789	158,254	166,990	174,129	186,827
40,000～49,999 m ²	272,901	186,919	176,170	220,758	228,216	254,993
50,000 m ² 以上	445,998	286,299	321,494	326,014	329,015	396,530
平均	72,206	60,148	58,338	63,119	67,397	74,050

注 1:2008 年度は水道料金を含む

注 2:2009 年度～2013 年度は電気代、ガス代、石油代(水道代、ガソリン代除く)の合計

表 8-16. 病院規模別にみたエネルギー単価（1 病院当り、N=985）

	2014 年度			
	施設数	金額 (千円)	エネルギー 単価 (円/MJ)	エネルギー 消費量(MJ)
4,000 m ² 未満	91	13,941	2.39	5,822,131
4,000～5,999 m ²	115	24,483	2.40	10,198,354
6,000～7,999 m ²	160	30,702	2.31	13,268,400
8,000～9,999 m ²	112	39,887	2.22	17,948,549
10,000～19,999 m ²	296	68,695	2.28	30,083,495
20,000～29,999 m ²	99	127,180	2.18	58,363,326
30,000～39,999 m ²	57	194,285	2.23	86,938,599
40,000～49,999 m ²	20	263,797	2.25	117,259,771
50,000 m ² 以上	35	420,260	2.22	189,097,768
平均	985	78,627	2.25	34,962,038

(参考)

	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度
4,000 m ² 未満	1.72	1.71	1.99	2.03	2.24
4,000～5,999 m ²	1.63	1.70	1.92	2.04	2.21
6,000～7,999 m ²	1.77	1.61	1.86	2.16	2.19
8,000～9,999 m ²	1.84	1.58	1.77	2.06	2.10
10,000～19,999 m ²	1.56	1.62	1.81	1.91	2.08
20,000～29,999 m ²	1.46	1.55	1.73	1.81	2.01
30,000～39,999 m ²	1.50	1.52	1.76	1.91	2.07
40,000～49,999 m ²	1.54	1.44	1.82	1.92	2.07
50,000 m ² 以上	1.34	1.41	1.56	1.60	2.02
平均	1.53	1.54	1.74	1.83	2.07

(3) ガソリン・軽油の消費量

表 8-17. 1 病院当り病院規模別にみたガソリン・軽油の消費量 (1 病院当り、N=729、432)

2013 年度	消費量				回答病院数	
	ガソリン (kL)	軽油 (kL)	ガソリン (GJ)	軽油 (GJ)	ガソリン	軽油
4,000 m ² 未満	5.1	2.2	178	84	73	25
4,000～5,999 m ²	11.0	3.8	379	144	81	46
6,000～7,999 m ²	19.5	4.9	675	184	128	71
8,000～9,999 m ²	9.3	2.6	322	97	79	49
10,000～19,999 m ²	19.8	5.1	685	192	211	129
20,000～29,999 m ²	15.7	6.5	543	247	62	31
30,000～39,999 m ²	9.8	4.6	338	173	28	19
40,000～49,999 m ²	10.3	4.0	355	149	7	6
50,000 m ² 以上	14.2	3.0	492	113	15	12
平均	14.9	4.4	516	166	684	388

2014 年度	消費量				回答病院数	
	ガソリン (kL)	軽油 (kL)	ガソリン (GJ)	軽油 (GJ)	ガソリン	軽油
4,000 m ² 未満	5.1	1.9	178	71	73	27
4,000～5,999 m ²	10.9	3.1	378	115	86	47
6,000～7,999 m ²	19.6	4.7	677	177	129	71
8,000～9,999 m ²	9.3	2.6	322	98	79	45
10,000～19,999 m ²	19.4	5.2	670	197	213	123
20,000～29,999 m ²	15.9	6.7	551	254	62	30
30,000～39,999 m ²	9.2	4.4	319	166	30	19
40,000～49,999 m ²	10.3	5.8	356	218	7	4
50,000 m ² 以上	13.5	2.5	467	95	15	13
平均	14.7	4.3	510	162	694	379

(4) 平成 26 年度医療施設調査における病床規模別病床数を前提とした電力量の推計

表 8-18. 平成 26 年度医療施設調査における病床規模別病床数を前提とした電力量の推計

	私立病院数	病床数 (床)	電力量原単位 (千 kWh/床)※注 1	電力量 (千 kWh)
20～49床 ※注2	869	33,335	8.2	273,276
50～99床	1,933	140,103	8.2	1,148,544
100～149床	1,281	155,743	8.4	1,311,825
150～199床	1,209	211,447	8.3	1,757,422
200～299床	965	233,538	7.5	1,748,834
300～399床	525	176,202	9.6	1,684,434
400～499床	253	111,102	10.6	1,172,643
500 床以上	239	164,806	13.1	2,166,943
合計／平均	7,274	1,226,276／168.6	9.8	12,020,873

注 1: アンケート調査結果

注 2: 20～49 床はアンケート対象外のため、50～99 床と同じ数字とした。

IV. <別途自主的アンケート調査>
2015年病院における厚生労働省環境自主行動計画
フォローアップ実態調査 調査票

**2015年病院における厚生労働省環境自主行動計画
フォローアップ実態調査 調査票について**

施設長 殿

この度は、調査にご協力頂き誠にありがとうございます。

本調査は、国が進める「低炭素社会実行計画」に協力する視点から、平成20年8月に策定した、「病院における地球温暖化対策自主行動計画」のフォローアップ調査、及び今後策定予定の「病院における低炭素社会実行計画」策定に資することを目的として、一昨年度に引き続き実施するものです。

つきましては、貴施設における平成25年度・26年度（2013、2014年度実績）の各々1年間のエネルギー使用量、及び現在の地球温暖化対策の実施状況等について、同封致しました「2015年病院における厚生労働省環境自主行動計画フォローアップ実態調査 調査票」にご記入の上、平成27年12月18日（金）までにご返送くださいますようお願いいたします。

ご提出頂いた内容につきましては、堅く秘密を守り、統計処理する以外には一切使用いたしません。

ご多忙とは存じますが、電気料金高騰問題、再生可能エネルギー固定価格買取制度の賦課金高騰問題等を指摘する拠り所となるものですので、格段のご協力を賜りますようお願いいたします。

なお、ご不明な点等がございましたら、裏面の電子メールあるいはFAXの「お問い合わせの相談窓口」まで照会頂きますようお願いいたします。

以 上

「ご送付した回答用調査票」

2015年病院における厚生労働省環境自主行動計画
フォローアップ実態調査 調査票 （水色用紙）

■ 調査対象・項目・方法

(1) 対象施設

50床以上の病院4, 585施設

(2) ご回答者

施設管理担当者(事務長等)

(3) 調査項目

医療機関プロフィール、平成25年度(2013年度)と平成26年度(2014年度)における各々1年間のエネルギー使用量、及び現状の地球温暖化対策の実施状況等

(4) 調査方法

日本医師会から調査対象施設に直接、調査票を発送。

医療機関が必要事項を調査票に記入後、返信用封筒(着払い)を用いて、日本医師会に返送。

■ 調査スケジュール

平成27年	11月	27日	: 調査票発送(協力依頼)
平成27年	12月	18日	: 調査票回収締め切り
平成28年	3月	31日	: 集計・分析結果とりまとめ

■ お問い合わせの相談窓口

お問い合わせは電子メール(イーメール)でお願いいたします。

また、電子メールが使用できない場合のみ FAX(お電話番号をご記入ください)でお願いします。

ご返事はメールまたは FAX・電話でご回答させていただきます。

電子メール : kankyo@sead.jp

FAX : 03-5570-2108

提出期限 : 平成27年12月18日(金)

「本調査担当」(日医総研: 畑仲)

2015 年病院における厚生労働省環境自主行動計画

フォローアップ実態調査 調査票

I. 病院概要について

本調査は平成 25、26 年度のエネルギー使用状況についてお伺いしております。平成 27 年 3 月 31 日(26 年度末)現在の貴施設の事業所としてのプロフィール等についてご記入下さい。(1)～(12)の枠内にご記入、または該当するものに○印をつけて下さい。

(1) 法人名	
(2) 病院名	
(3) 病院種別	1. 一般病院(2、3 以外の病院) 2. 精神科病院 3. 特定機能病院
(4) 開設主体	1. 日赤・社会保険関係団体 2. 公益法人(社団・財団等) 3. 医療法人 4. 私立学校法人 5. 社会福祉法人 6. 営利法人(会社) 7. その他の法人 8. 個人
(5) 所属団体	貴施設(長)が所属する団体の全てに○印をつけて下さい。 1. 全日本病院協会 2. 日本病院会 3. 日本精神科病院協会 4. 日本医療法人協会 5. 日本医師会
(6) ご回答者 (連絡担当)	ご所属 : _____ お名前 : _____ 電話番号 : _____ FAX 番号 : _____

	【平成 25 年度】 平成 26 年度 3 月 31 日(25 年度末)	【平成 26 年度】 平成 27 年度 3 月 31 日(26 年度末)
(7) 許可病床数 (うち療養病床)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> _____, _____ </div> 床 (<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> _____ </div> 床)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> _____, _____ </div> 床 (<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> _____ </div> 床)
(8) 延べ床面積	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> _____, _____ </div> m ²	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> _____, _____ </div> m ²
<small>※延べ床面積は病院の使用面積をご記入ください。併設の病院以外の施設面積は、全体の延べ床面積から除外してください。 ※延べ床面積は、小数点以下を四捨五入して下さい。</small>		

(9) 部門別 面積比率	以下の8つの部門について平成26年度の面積割合の比率(各部門の合計を100%としてください)をご記入ください。(面積割合は、小数第1位を四捨五入して下さい。概数でも結構です。)		
	病棟	(病室、ICU、ナースステーション、WC・汚物処理、ティールーム、リハビリテーションルームなど)	□ □ □ %
	外来	(待合、診察室、処置室など)	□ □ □ %
	中央診療部門	(放射線部、検査部、手術部、中材部、特殊治療室など)	□ □ □ %
	供給部門	(薬局、洗濯室、廃棄物処理室など)	□ □ □ %
	管理部門	(事務、医事、医局、会議室など)	□ □ □ %
	厨房	(入院食用主厨房、食堂)	□ □ □ %
	物販・飲食	(喫茶、コンビニ、食料品店など)	□ □ □ %
共有	(玄関ホール、談話スペース、廊下、階段、昇降機、電気室、機械室など)	□ □ □ %	

	【平成25年度】 平成26年度3月31日(25年度末)	【平成26年度】 平成27年度3月31日(26年度末)
(10) 駐車場 敷地面積	□ □ □ , □ □ □ m ²	□ □ □ , □ □ □ m ²
	※面積不明の場合は1台あたり25m ² をかけた概算を記入下さい。 ※立体駐車場の場合は敷地面積のみ記入下さい。 ※小数点以下は四捨五入して下さい。	
(11) 年間光熱費 合計(消費税込み)	□ □ □ , □ □ □ 千円	□ □ □ , □ □ □ 千円
	(8)の延べ床面積に対応する平成25、26年度の光熱費(電気代、ガス代、石油代(重油・灯油代含む))を記入ください。ただし水道代、ガソリン・軽油代は除きます。	
(12) 医業収入 合計 (平成25、 26年度)	□ □ □ , □ □ □ 千円	□ □ □ , □ □ □ 千円
	(8)の延べ床面積に対応する平成25、26年度の医業収入全体を記入ください。	

II. エネルギー使用量について

貴施設の延床面積に対応する平成 25、26 年度(2013、2014 年度)の年間使用量(購入量)と料金を、お使いのエネルギー毎に単位を確認の上、小数点未満を四捨五入してご記入ください。

なお、下記 F1 は該当するものに○印をつけて下さい。

(1) 電力使用量(購入量)・料金

F1. 貴施設の主な契約電力会社は以下のどれに該当しますか？該当する番号に全てに○印をつけてください。

- | | | |
|----------|---------------|---------|
| 1. 北海道電力 | 2. 東北電力 | 3. 東京電力 |
| 4. 中部電力 | 5. 北陸電力 | 6. 関西電力 |
| 7. 中国電力 | 8. 四国電力 | 9. 九州電力 |
| 10. 沖縄電力 | 11. その他(具体的に) |) |

<下記ご記入の際の注意点・お願い>

- ① 電力使用量(昼間・夜間の合計)・料金について、平成 25、26 年度の各々1 年間の請求書データを年度ごとに合計して頂き、下表に記入してください。
- ② 電力使用量のデータは「お客様番号」ごとに記入して頂き、「お客様番号」(請求書)が複数ある場合には、番号ごとに記入をお願いします。
※施設建物と別契約で、公衆街路灯、駐車場、看護師寮等がある場合は、調査対象外となります。検針時に配付する「電気使用量のお知らせ」が複数枚ある場合はご留意下さい。
- ② 電力使用量のご記入に際して、その数値が分からない場合、次ページの電力会社と契約をしている施設については、担当窓口の本調査に記入する旨を連絡すると、契約者(本人)の確認のうえ、1～2 週間のうちに、当該の各々2年間の使用量の連絡が来るようになっていきます(次ページ注意点をご確認の上、お問い合わせください)。
- ④ 電力使用量は、電力会社等からの購入電力量のみをご記入ください。
- ⑤ 継続的フォローアップのため、今後引き続きご協力をお願い致したく、請求書データの保管をよろしくお願い致します。

【電力使用量 お客様番号(請求書)が1つの場合】

平成 25 年度の電力使用量 (平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月)										
百億	十億	億	千万	百万	十万	万	千	百	十	一
										kWh
平成 26 年度の電力使用量 (平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月)										
百億	十億	億	千万	百万	十万	万	千	百	十	一
										kWh

【電力使用量 お客様番号(請求書)が複数の場合】 *お客様番号ごとに記載してください。

お客様番号	平成 25 年度の電力使用量										
											kWh
											kWh
											kWh
											kWh
											kWh

お客様番号	平成 26 年度の電力使用量			
	,	,	,	kWh
	,	,	,	kWh
	,	,	,	kWh
	,	,	,	kWh
	,	,	,	kWh

お手元の請求書データで 1 年間の電力使用量をご記入する場合、または下記の電力会社以外とも契約されている場合は、月別の請求書を合計して、1 年間の電力使用量をご記入下さい。

【電力料金】

注 1: ご記入いただいた電力使用量合計に対応する、1 年間の料金の合計を年度ごとにご記入下さい。

注 2: 下記の連絡先(電力会社)では、料金に関するお問合せは対応できませんのでご了承下さい。

平成 25 年度の電力料金 (平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月)										
十億	億	千万	百万	十万	万	千	百	十	一	
										円
平成 26 年度の電力料金 (平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月)										
十億	億	千万	百万	十万	万	千	百	十	一	
										円

<電力会社にお問い合わせの際の注意点>

- ・ 前頁の F1. の 1～10 までの電力会社のみしか問い合わせはできません。
- ・ お問い合わせの際は、契約者(本人)の確認等が必要になりますので、検針時に配付される「電気使用量のお知らせ」をご用意ください。数点質問される場合もあります。
- ・ 電話の取次ぎが必要な場合等のため、「日本医師会からの電気使用量に関するアンケート」に記入する旨をお伝えください。
- ・ 回答は電話対応のみとなっています(書面での回答は不可です)。
- ・ 受付時間は各社で異なりますが、平日 9:00～17:00 は各社対応可能です(夜間・休日は対応不可)。

契約電力会社	担当窓口	連絡先(一部は受け持ちエリア別)
北海道電力㈱	各支店・営業所	「電気使用量のお知らせ」に記載された電話番号にお問い合わせ下さい。 (その際、法人担当窓口にて用件がある旨、お伝えください。)
東北電力㈱	東北電力コールセンター	0120-175-466 : 受付時間 9:00～17:00(土曜・日曜・祝日・年末年始を除く)
東京電力㈱	各カスタマーセンター	「電気使用量のお知らせ」に記載された電話番号(カスタマーセンター) 受付時間: 月曜日～土曜日 9:00～17:00(休・祝日除く)
中部電力㈱	法人カスタマーセンター	0120-210-035 : 受付時間 9:00～17:00(土曜・日曜・祝日除)
北陸電力㈱	富山支店営業部営業担当	076-433-2398 富山県内
	石川支店営業部営業担当	076-233-8881 石川県内
	福井支店営業部営業担当	0776-29-6980 福井県内(美浜町, 若狭町, 小浜市, おおい町, 高浜町は除く)
関西電力㈱	各営業部・営業所	「電気料金請求書」に記載された電話番号にお問い合わせください。 ※インターネットで使用実績を照会できる「電気ご使用量お知らせサービス」もご利用ください。
中国電力㈱	各営業所※営業所への電話は カスタマーセンター受付	担当の営業所および電話番号(フリーダイヤル)については、「電気ご使用量のお知らせ」またはホームページでご確認ください。
四国電力㈱	各支店・営業所	「電気使用量のお知らせ」に記載された電話番号にお問い合わせください。
九州電力㈱	各営業所 ※ 営業所への 電話はコールセンターで受付	担当の営業所および電話番号(通話料無料)については、「検針のお知らせ」またはホームページでご確認ください。

※上記問い合わせ先は、本調査における期間限定となっております。

(2) 都市ガス使用量(購入量)・料金

＜下記ご記入の際の注意点・お願い＞

- ① 都市ガス使用量について、平成 25、26 年度の各々1 年間の請求書データを年度ごとに合計して頂き、下表に記入してください。
- ② 都市ガス使用量のデータは「お客様番号」ごとに記入して頂き、「お客様番号」(請求書)が複数ある場合には、番号ごとに記入をお願いします。
- ③ 都市ガス使用量データのご記入に際して、その数値が分からない場合、検針票等により「契約都市ガス会社」「お客様番号」をご確認の上、次ページの都市ガス会社と契約をしている施設については、担当窓口の本調査に記入する旨を連絡すると、契約者(本人)の確認の上、1~2 週間のうちに、当該の各々2 年間の使用量の連絡が来るようになっていきます。
- ④ 継続的フォローアップのため、今後引き続きご協力をお願い致したく、請求書データの保管をよろしくお願い致します。

【都市ガス使用量 お客様番号(請求書)が1つの場合】

平成 25 年度の都市ガス使用量(平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月)							
千万	百万	十万	万	千	百	十	一
.....
							m ³
平成 26 年度の都市ガス使用量(平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月)							
千万	百万	十万	万	千	百	十	一
.....
							m ³

【都市ガス使用量 お客様番号(請求書)が複数の場合】 *お客様番号ごとに記載してください。

お客様番号	平成 25 年度の都市ガス使用量						
	m ³
	m ³
	m ³
	m ³
	m ³
お客様番号	平成 26 年度の都市ガス使用量						
	m ³
	m ³
	m ³
	m ³
	m ³

【都市ガス料金】

注 1: ご記入いただいた都市ガス使用量合計に対応する、1年間の料金の合計を年度ごとにご記入下さい。

注 2: 下記の連絡先(都市ガス会社等)では、料金に関するお問合せは対応できませんのでご了承下さい。

平成 25 年度の都市ガス料金(平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月)										
十億	億	千万	百万	十万	万	千	百	十	一	
										円
平成 26 年度の都市ガス料金(平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月)										
十億	億	千万	百万	十万	万	千	百	十	一	
										円

<都市ガス使用量に関する問い合わせ連絡先>

契約都市ガス会社	担当窓口	担当者	連絡先
北海道ガス(株)	第一営業部 都市エネルギーグループ	—	011-207-2080 (平日*9:00～17:00)
仙台市ガス局	営業推進部 都市エネルギー営業課 エネルギー推進係	佐藤 伊藤	022-292-7709 (平日*8:30～17:00)
京葉ガス(株)	エネルギー開発部 都市エネルギー営業センター エネルギー営業グループ E-mail: n-karigome@keiyogas.co.jp	荻籠	047-325-4011 (平日*9:00～17:00)
北陸ガス(株)	各支社料金グループ	—	新潟支社: 025-229-7000 長岡支社: 0258-39-9000 (平日*8:30～17:10)
東京ガス(株)	お客様センター	—	0570-002211 (月～土曜 祝日除く 9:00～19:00) (日・祝 9:00～17:00)
静岡ガス(株)	お客様担当支社	—	検針票に記載の問い合わせ先電話番号
東邦ガス(株)	都市エネルギー営業部 営業第二グループ	西田	052-872-9213 (平日*9:00～17:40)
大阪ガス(株)	口座振替でガス料金のお支払いをされている方は以下の URL https://www5.osakagas.co.jp/gasrate/IndexServlet またはお客さま情報受付窓口、お客さまセンター	—	0120-011480 (平日*9:00～17:30) [土日祝日および 5/1、12/29～1/4 除く]
広島ガス(株)	業務用エネルギー営業部	—	082-252-3023 (平日*8:45～17:30)
西部ガス(株)	エネルギーソリューション本部 エネルギー総括部 計画グループ	—	092-633-2364 (平日*9:00～17:45)

※祝日を除く、月曜日～金曜日

(3) 液化石油ガス(LPG)・油(重油・灯油)・上水道・ガソリン・軽油の使用量

＜下記ご記入の際の注意点・お願い＞

- ① 液化石油ガス・油・上水道・ガソリン・軽油の使用量(購入量)は、平成 25、26 年度の各々1年間の請求書データを年度ごとに合計して頂き、下表に記入してください。
- ② 使用量は、施設の延べ床面積に対応して使用された数量をご記入ください。
- ③ 使用量は、各契約供給会社の請求書にてご確認ください。
- ④ 請求書が複数にわたる時は、すべての請求書に記載されている使用量を合計してご記入ください。欄が足りない場合は本票をコピーの上、ご記入ください。

【液化石油ガス(LPG)・油(重油・灯油)・上水道・ガソリン・軽油の使用量】

平成 25 年度の使用量(平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月)									
	千万	百万	十万	万	千	百	十	一	
液化石油ガス (LPG、プロパンガス)	・	・	・	・	・	・	・	・	m ³
重油	・	・	・	・	・	・	・	・	ℓ
灯油 (メンテナンス用含む)	・	・	・	・	・	・	・	・	ℓ
上水道 (井戸水は除く)	・	・	・	・	・	・	・	・	m ³
ガソリン (自動車のみ)	・	・	・	・	・	・	・	・	ℓ
軽油	・	・	・	・	・	・	・	・	ℓ
平成 26 年度の使用量(平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月)									
	千万	百万	十万	万	千	百	十	一	
液化石油ガス (LPG、プロパンガス)	・	・	・	・	・	・	・	・	m ³
重油	・	・	・	・	・	・	・	・	ℓ
灯油 (メンテナンス用含む)	・	・	・	・	・	・	・	・	ℓ
上水道 (井戸水は除く)	・	・	・	・	・	・	・	・	m ³
ガソリン (自動車のみ)	・	・	・	・	・	・	・	・	ℓ
軽油	・	・	・	・	・	・	・	・	ℓ

III. 省エネ活動等について

平成 27 年 9 月 1 日現在、以下の設問について該当する番号に○印をつけるとともに、記入欄がある場合には、数値等をご記入ください。

Q1 エネルギー消費量削減(省エネルギー)の推進について

Q1-1 貴施設でのエネルギー消費量を削減することへの取り組み状況を自ら評価した場合、次のどれに該当しますか？(1つに○印)

1. 積極的に取り組んでいると思う
2. ある程度取り組んでいると思う
3. あまり取り組んでいないと思う
4. 全く取り組んでいないと思う
5. わからない

Q1-2 貴施設は省エネルギー活動状況についてお聞きます？
(1つに○印)

1. 現在、省エネ委員会等の組織を設置して取り組んでいる
 2. 組織を設置しないが取り組んでいる
 3. 今後、組織を設置し取り組む予定である
 4. 今後とも組織を設置し取り組む予定はない
 5. 取り組んでいない
- } 1～3 を選択した方は Q1-4へ
- } 4、5 を選択した方は Q1-3へ

Q1-3 取り組んでいない場合、取り組んでいない具体的な理由は何ですか？該当するもの全てに○印をつけてください。

1. 省エネルギー活動を推進するために、現状のエネルギー使用量を把握・評価することが困難である
2. 省エネルギー活動の意義が明確に理解できない
3. 省エネルギー活動は複雑で、取り組み方がわからない
4. 行政が示す省エネルギー活動に関する情報が複雑で、なかなか理解できない
5. 省エネルギー活動のための費用を捻出することが病院経営上困難である
6. 病院内で省エネルギー活動に対する理解が得られない
7. 省エネルギー活動を推進する専門的な人材がない
8. 病院機能と省エネルギー活動が矛盾することがある
9. 病院内で省エネルギー活動に対する関心が少ない
10. その他(具体的にお書き下さい。)

Q1-4 貴施設で平成 26 年度の電気・ガス・石油等の使用量に影響を与えたと思われる医療業務や環境の変化について、増加要因と減少要因に分けて、該当する全ての番号を下の枠内にご記入下さい。

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 外来患者数の増加 | 2. 外来患者数の減少 |
| 3. 入院患者数の増加 | 4. 入院患者数の減少 |
| 5. 病床数の増加 | 6. 病床数の減少 |
| 7. 4～6人の病室を少人数室・個室に変更 | 8. 高度な医療機器・検査機器の導入 |
| 9. 情報システム機器の導入 | 10. 診療科目の大幅な変更 |
| 11. 救急医療機能の導入 | 12. 患者サービスの向上(自動販売機設置等) |
| 13. 職員のための福利厚生施設の整備 | 14. 気象の変化 |
| 15. 石油価格の大幅変動 | 16. 東日本大震災 |
| 17. その他() | |

(上の選択肢の該当する番号を全てご記入下さい)

増加要因	
減少要因	

Q2 地球温暖化対策におけるエネルギー削減の余地について

Q2-1 貴施設では今後エネルギー消費量の削減の余地があると思いますか？(1つに○印)

- | | | | | |
|-----------|-------|---------|---------|----------|
| 1. おおいにある | 2. ある | 3. 余りない | 4. 全くない | 5. わからない |
| ↓ | | ↓ | | ↓ |
| (Q2-2へ) | | (Q2-3へ) | | (Q3へ) |

Q2-2 今後、貴施設でのエネルギー消費量の削減の余地があると考えている理由は何ですか？(該当する番号全てに○印)

1. これまでハード(機器・設備・建物等)・ソフト(機器・設備・建物の職員などによる運用形態・体制等)面でのエネルギー削減を十分進めてこなかったから
2. これまでハード面でしかエネルギー削減を進めてこなかったから
3. これまでソフト面でしかエネルギー削減を進めてこなかったから
4. 省エネは医業経営に寄与するため、これまで以上に省エネすることが経営上重要と考えているから
5. その他()

